

16人に

3月定例会は、2月18日から3月12日まで23日間の会期で開かれました。一般質問（11ページ22ページに掲載）には12人が登壇し、地域活性化策や教育行政など幅広く町政について質問。町からは、一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正や財産の取得に関する議案、平成21年度補正予算7件、22年度予算9件など議案20件が提案され、審議の結果、すべて原案どおり可決されました。3月5日には、次回の一般選挙から議員定数を16人とする「山田町議会の議員の定数を定める条例の一部改正」と請願に伴う議員発議の意見書2件が提出され、原案どおり可決されました。最終日には、22年度補正予算1件が追加提案され、原案どおり可決し会期を閉じました。

議員の定数を定める条例を改正

定例会第15日（3月4日）、議員定数検討特別委員会（道又秀悦委員長・委員6人）に付託されていた「山田町議会の議員の定数に関する条例の一部改正」の委員報告が行われました。これを受け、翌日の5日に議員定数を現行の18人から2人減の16人とする「山田町議会の議員の定数を定める条例の一部を改正する

条例」が議員発議され、審議の結果、賛成多数で可決されました。この条例は、次回の一般選挙より適用されます。

情勢変化により議員定数を検討

近年の世界同時不況の影響により本町を取り巻く社会情勢も厳しさを増す中、

県内の人口類似規模自治体の議員定数

町名	平成17年 国勢調査 人口	法定 上限 議員数	現議 定 議員 数	議員一人 当たりの 人口	備考
類似規模	矢巾町	27,085	26	1,505	
	雫石町	19,055	22	953	
	岩手町	16,254	22	1,016	
	一戸町	15,549	22	972	
	金ヶ崎町	16,396	22	911	
近隣	大槌町	16,516	22	918	次回選挙から13人
	岩泉町	11,914	22	745	
山田町	20,142	26	1,119		次回選挙から16人

※減少条例（昭和61年9月17日） 2人減……昭和62年改選から施行
 新条例（平成12年6月13日） 4人減……平成15年改選から施行
 減少条例（平成17年6月10日） 2人減……平成19年改選から施行
 減少条例（平成22年3月5日） 2人減……平成23年改選から施行

議員定数2人減 現状維持で議論

委員会は平成21年3月から6回開かれました。第3回までは、他市町村の議員定数などを調査。第4回、第5回では、具体的に本町の方向性について、現状維持と定員削減の両方から議